



【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		0	60	0	0	40		
総合 力 指 標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20	
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	10	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	学期末にレポート課題を実施して評価する。 内容は講義中に行った講義や演習から出題し、理解度を問う。				試験結果を掲示する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	講義中に理解を深めるために受講者間のディスカッションやグループワークを実施する。主体的な受講姿勢やグループ間のコミュニケーション、問題発見能力等を評価する。 また、授業後のリアクションペーパー時に通知した設問への回答も評価に加える。				講義内で適宜フィードバックする。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし。							
教員の実務経験	担当教員は、研究活動において量的・質的調査および統計分析を行ってきた経験を有しており、その研究実務経験を活かして実践的指導を行う。							
実践的授業の内容	人間や社会の関係性をテーマとした小規模調査をグループで企画・実施し、得られたデータを基に分析・考察を行う。調査設計から結果の解釈までの一連の過程を体験することで、データに基づいて他者に説明する力を養う。							
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中、PCを使用するため持参すること。</li> <li>・生成 AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。</li> <li>・教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業の参加を認めないこともある。</li> </ul>							